

Contents

■特集「平成19年度決算報告」	2～7 P
■平和都市宣言、パソコン講習	8 P
■税、入札	9 P
■まちの話題	10・11 P
■除雪、免許証ICカード化	12 P
■浄化槽管理、し尿収集、国民年金	13 P
■新型インフルエンザ、エイズデー、O次健診	14 P
■お元気ですか(高齢者に多い病気)	15 P
■認知症、布団丸洗い、障害者控除	16 P
■人権ってなあに	17 P
■インフォメーション	18・19 P
■裏表紙 長浜クリスマスマーケット	20 P

今月の表紙

秋の全国火災予防運動にあわせて、市立北保育園(神照町)で「火の用心ちびっこフェスタ」が開催されました。

この催しは、火災の発生しやすい時期を前に、幼年期から防火に対する意識を身につけてもらおうと、湖北地域幼少年女性防火委員会会長浜支部と長浜消防署が協力して、毎年この時期に行われています。

園児たちは、給食室から出火したという想定で避難訓練を行い、その後、風船を使ったバケツリレーや放水、起震車による地震の揺れなどを体験し、楽しみながら火の恐ろしさなどを学んでいました。



11月に入ってから、市内では大きな火事が数件発生しています。

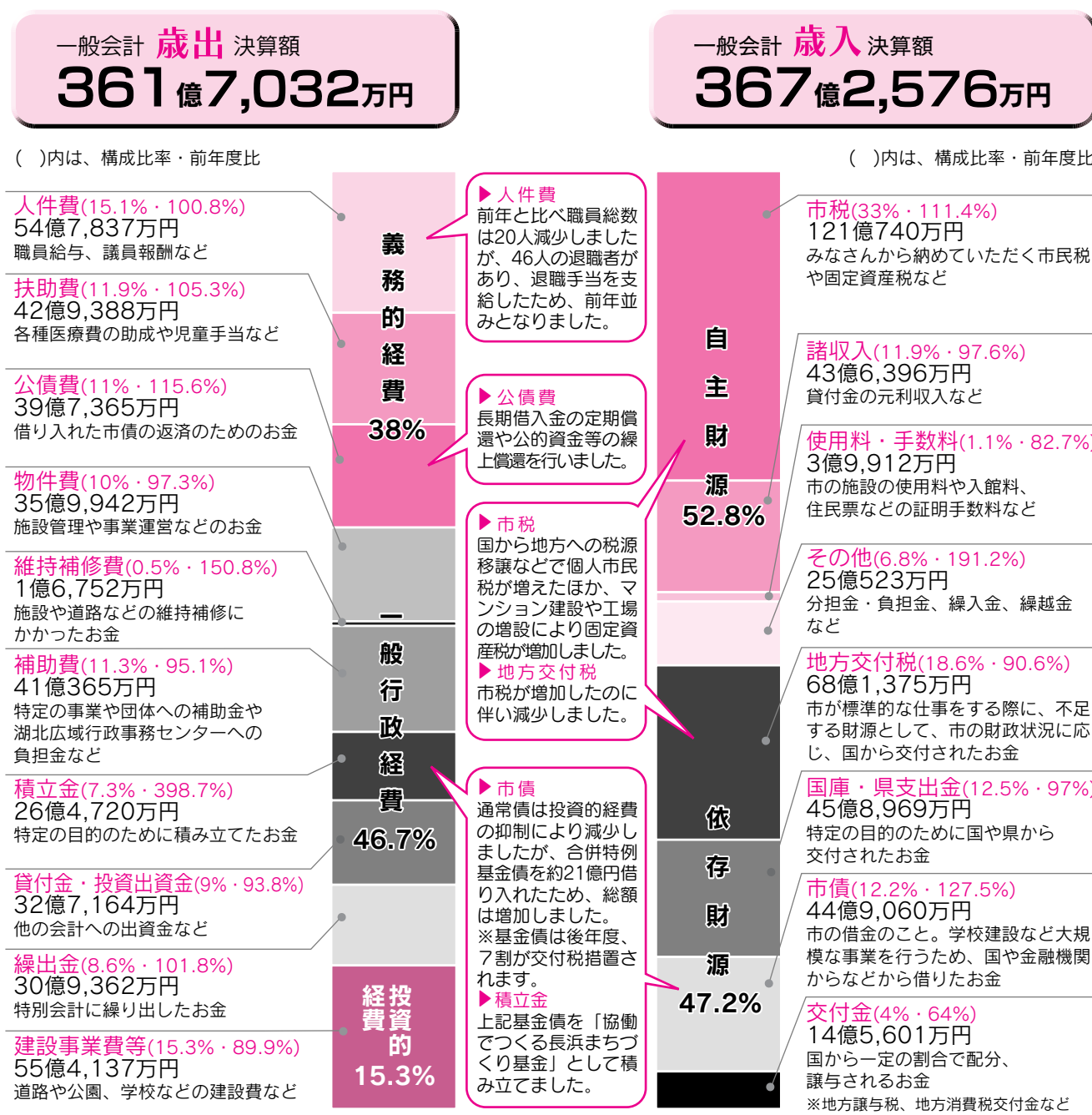
冬は、暖房器具などで火を使う事が多く、空気も乾燥して火災が起こりやすい時期です。何かとあわただしく火に対する注意がおろそかになりがちですが、火を使った後や、お出かけ前、就寝前にはもう一度火の元を確かめましょう。

特集

長浜市財政

平成19年度 決算報告

長浜市の平成19年度決算がまとまりました。みなさんに納めていただいた貴重な税金が、どのように使われたのかを知っていただくため、その概要をお知らせします。



▼ **19年度決算の特徴**

19年度は、「長浜市基本構想」(平成19年6月)に掲げられた「協働でつくる輝きと風格のあるまち長浜」を実現するため、「豊かな人間性を育み、市民が活躍するまち」「安全で安心して暮らせるまち」「住みやすさが実感でき、自然を慈しむまち」の3つを基本目標として、計画的かつ先進的な施策を展開してきました。あわせて、「長浜市集中改革プラン」(平成18年12月)に基づき、持続可能な行政基盤の確立に向けた取組みを行いました。

19年度の決算は、歳入の確保および歳出の効率的な執行と経費の節減に全庁を挙げて取り組んだ結果、一般会計において、歳入が約367億円、歳出が約362億円となり、翌年度に繰り越すべき財源(約8千万円)を差し引いた実質収支は、約5億円の黒字となりました。特別会計においても、老人保健特別会計を除いて黒字となり、全体として収支の均衡を保持しています。老人保健特別会計は赤字になりましたが、赤字分は20年度に1年遅れで国から補助金等が交付されます。

▼ **今後の見通し**

市税収入は税源移譲分が一定額見込まれるものの、地方交付税や国・県支出金の縮減が見込まれるなど、大変厳しい財政運営となることが予想されます。

合併の特例措置である普通交付税の合併算定替えによる増加額(約10億円)がある期間内に、行財政改革に取り組み、持続可能な財政基盤を確立するとともに、限られた資源を有効活用し、少ない経費で大きな効果を上げるよう、予算の適正執行に努めていきます。